

みずしま協同クリニック



「どうせ僕はバカだから」
 発達相談に来ている子どもたちの中で、勉強が苦手な子が「どうせ僕はバカだからできないんだ!」と言うことがあります。聞いていて胸が痛くなる言葉ですが、それは子どもたちの本音ではなく「僕だってできるよ!」になりたいんだ!という心の叫びでもあると思います。実際、個別に指導を受けて勉強が分かってくると「頑

張ればできるんだ」と表情も明るくなり、勉強への意欲が少しずつ出てくるようになってきます。
 「俺なんかいいい方がいい」
 友達とのトラブルが多く、学校でも家でも「どうしてお前はそうなんだ!」などと叱られ、親もどう接していいかわからないと相談に来た子ども、「誰も自分の言うことを信用してくれない!」「俺なんかいい方がいいんじゃないやろ!」と叫んでいました。しかし静かにじっくりと話しを聞いていくと、真剣な表情で「僕だって本当は友達と仲良くしたいんだ。みんな

からよく思われたいんだ」と本音を語ってくれました。その思いを先生や両親に伝えてしばらくすると「手を止めるようになったんです」と嬉しそうに母が教えてくれました。
 私たち大人の役割は、子どもたちが「よりよい自分になりたい」願いを必ずどこかに持っていることを信じていくこと、その「本当の願い」をきちんと聞き取り、それを応援していくことだと思っています。

子どもたちの本当の願いに寄り添って



発達相談員 檀上 貴史

水島協同病院は差額ベッド料はいただいております



—みずきょう 今日の1枚—
 2026.4.8 花見の風景
 2階西病棟の患者さんと一緒に桜を見にいきました



水島協同病院
 当院有志で結成したバスケットボールチーム「水島Lizard」は、毎週水曜日に活動しています。中学生や他企業の社会人も参加し、毎回15人前後で楽しく練習しています。
 3月には「広島メディカルバスケット大会」に参加しました。1つでも多く勝つことを目標に挑みましたが、結果はCブロック8チーム中6位と悔しい結果に。それでも、チーム一丸となっ

バスケットでリフレッシュ!
 リザード
 チーム水島Lizard



て最後まで全力でプレーし、充実した時間を過ごすことができました。ちなみに、1位はasaminami、2位は広中リ八部、3位は広島赤十字原爆病院でした。
 この悔しさをバネに、次回大会に向けてこれからも楽しく練習を続けていきます!
 (病棟看護師 大下智奈美)



—みずきょう 今日の1枚—
 2026.3.31 ペンギンカフェ
 当院・当クリニックの未来を職員自ら考え交流するワークショップの様子

LINEお友達募集中!!

水島協同病院
みずしま協同クリニック

